

第三者評価結果報告書

総 括	
対象事業所名	アスク大和保育園（6回目受審）
経営主体(法人等)	株式会社 日本保育サービス
対象サービス	児童分野 保育所
事業所住所等	〒242-0021 大和市中央1-4-19 2F
設立年月日	平成22年10月1日
評価実施期間	平成28年8月～29年1月
公表年月	平成29年5月
評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部
評価項目	横浜市版
総合評価（事業所の特色や努力、工夫していること、事業者が課題と考えていること等）	
<p>【施設の特色】</p> <p>• 立地および施設の概要 アスク大和保育園は、相鉄線・小田急線大和駅から徒歩5分、2階建て商業ビルの2階にあります。平成22年10月開園の0～2歳児対象の認可保育園（定員60名、在籍児60名）で、産休明け保育、障がい児保育、一時保育、延長保育を行っています。ビルの中にある保育園なので園庭はありませんが、近くには中央一号公園ややまと公園、泉の森など大小さまざまな公園があり、子どもたちは日常的に散歩に出かけています。</p> <p>• 園の特徴 園目標は「すくすく元気にみんななかよし」で、特別プログラムとして、専任講師による英語、リトミック、体操教室を行い、また、食育の一環として野菜を育てたりクッキング保育を行っています。</p> <p>【特に優れていると思われる点】</p> <p>1. 自然に触れ合う積極的な園外活動と子どもの健康増進 園舎はビルの2階で園庭がないこともあり、天気が許せば毎日、子どもたちがそろそろ9時30分頃から散歩に出かけています。散歩は、月齢や発達に応じて1クラスを2グループに分け、コースや行き先を変えて行っています。また、歩行が安定してきた子どもは次の散歩には長距離を歩くグループに入るなど、子どもの発達をとらえ、柔軟に対応しています。散歩の途中で、子どもたちは商店のディスプレイや樹木の変化で季節の移り変わりを知り、公園でバッタやどんぐりを探すなどして、子どもの興味関心を深めています。やや遠出の自然豊かな泉の森に出かけることも日常的で、子どもの脚力をつけ健康増進を図っています。利用者家族アンケートの「戸外遊び・園外活動・健康づくり」の3項目で、満足度（満足及びやや満足の合計）が100%となっており、保護者から高い支持を受けています。</p> <p>2. 保育内容など園生活に関する情報提供 玄関ホールに「保護者向け掲示板」を設置し、連絡事項や地域の情報を伝えたり、「戸外活動掲示板」に当日の散歩先の公園名を記入して他クラスやお迎えの保護者に知らせています。毎月発行のクラスだよりでは、クラスでの取り組み、散歩や製作、歯磨きなどの様子を、写真入りでわかりやすく伝えています。それらの情報提供に加え、日々の連絡帳での情報交換などにより、利用者家族アンケートの「園と保護者との連携・交流」の7項目平均では、肯定的回答（満足、どちらかといえば満足）が94%と高い満足度を示しており、保護者に子どもの情報が丁寧に伝わっているといえます。</p>	

3. 職員間の連携

クラス内は、ほぼ 2 グループに分けて保育しています。グループは固定ではなく、職員は子どもたちの様子を話し合って共有し、子どもを高月齢と低月齢で分けたり、発達に応じて柔軟にグループを変更し、対応しています。散歩から帰って来ると、職員は、玄関と廊下、室内に分かれ、子どもたちを無理なく保育室へ誘導しています。クラスではトイレで着替えを手伝ったり、全体の面倒を見るなど、職員間で連携を密にして役割を分担しています。園長・主任は子どもたちや職員の様子を見ながら、保育に入るなど、工夫して保育に取り組んでいます。

【特に改善や工夫などを期待したい点】

1. 子どもへの個別対応の見直し

0 歳児保育の場面では、個別対応が必要な子どもがほとんどのため、食事や排せつ援助などで、子どもへの対応が十分でない場面があります。哺乳瓶で一人飲みをしていたり、おむつ替えが誰の目にもとまるクラス内で行われています。おむつ交換については、場所を限定したり囲みを使用するなど試行錯誤で改善に取り組んでいますが、さらに検討を重ね、早期の改善が望めます。さらに、職員と子どもが個別に関わることで育まれる信頼関係や羞恥心について全職員で話し合い、子どもの人権への配慮などを再確認し、対応についての見直しが求められます。

2. 保護者からの意見や要望のデータ蓄積と活用

苦情・要望は「クレーム受理票」に記録し、昼礼、職員会議で話し合い、情報を共有していますが、保護者から日々寄せられる意見・要望についてのデータの蓄積はありません。利用者家族アンケートでは、総合満足度 100%と高い支持を得ていますが、日頃より保護者から寄せられる意見や要望については些細なことであっても記録をとり、データを蓄積・分析してその傾向を知り、解決に活かしていくことが望めます。

評価領域ごとの特記事項

1.人権の尊重

- ・設置法人で定めた保育園業務マニュアルに人権について記載があり、職員は入社時に研修を受けています。子どもに対して威圧的な言葉使いなどが行われないよう、職員間で配慮しています。保育の中でさらに子ども一人一人の人権に対して適切に対応しているかの再確認が望めます。

- ・設置法人が定めた個人情報管理規程があり、全職員(実習生を含む)が入社時やオリエンテーション時に、規程に基づいて個人情報の取り扱いや守秘義務について研修を受け、全員が誓約書を提出しています。

- ・虐待対応マニュアルがあり、毎年の児童虐待防止推進月間には玄関にポスターを貼り、職員や家族に啓発しています。虐待が明らかになった場合や虐待が疑わしい場合は、園長から設置法人に報告し、関係機関と連携して対応する体制があります。

- ・子どもや保護者に対して父親・母親の役割を固定的にとらえて話すことはありません。保育中、性差による固定観念が感じられた時には職員同士で注意し合うことになっています。

- ・乳児であっても、オムツ替えの時にはパーテーションを利用したり、食後の脱衣の方法について見直すなど、人権に配慮した対応の検討が望めます。

- ・保護者からの相談には、事務室、一時保育室を相談室として利用しています。相談中には「面談中」の札をかけ、落ち着いて相談できるよう配慮しています。

<p>2.意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行事ごとに保護者に対してアンケートを取って利用者満足度を聞き、集計した結果は玄関に掲示しています。 ・子どもや家庭の個別の状況や要望は、入園時家庭調査票、面談シート、個人面談時の面談記録票、児童票に記録しています。 ・発達記録は、児童票として0、1歳児は毎月、2歳児は2か月ごとに記入し、事務室に施錠・保管しています。個人健康記録票に、毎月の身長・体重測定、年2回の定期健康診断、年1回の歯科健診の結果を記録しています。 ・全園児に、月間個別指導計画を作成しています。離乳食やトイレトレーニングの進捗状況などにより、保護者の意向を反映して、計画を柔軟に見直しています。 ・子どもが主体的に活動できるよう、おもちゃは子どもの目線に合わせた棚のボックスの中に入れ、子どもが自由に取り出して遊べるようになっています。 ・室内を静かな遊びを行うスペース、動きのある遊びを行うスペースに分け、子どもが安全に、落ち着いて遊べるようにしています。 ・近隣の公園の特徴を把握し、子どもの発達に応じて散歩コースを選び、徐々に運動能力(歩行距離)が延びるよう意識して散歩に出かけています。少し遠出になる泉の森公園にも日常的に行ったり、近隣の公園では大型遊具を使ったり、かけ回って遊んでいます。 ・月1回、行事に合わせて季節感のあるハロウィン、クリスマスなどの行事食を提供しています。子どもに食べやすいよう、野菜を小さく刻んで盛りつけたり、柔らかく煮たりしています。 ・午睡や休息については柔軟に対応し、眠れない子どもは、布団の位置を変えたり部屋の隅で本を読んだり、場合によっては事務室で抱っこしてもらっています。 ・排泄については、0歳児は生活の活動リズムでオムツを替え、1歳児・2歳児についても活動リズムでトイレに誘導したり、オムツを替えたりしています。子ども本人からの排泄の訴えがあった時には、一緒にトイレに行ったりオムツを替えています。 ・入園説明会、クラス懇談会で、理念、基本方針、保育内容・目的を分かり易く説明しています。行事ごとにアンケートを取って集計した結果は玄関に掲示していますが、アンケートで保育方針が理解されたかまでは把握できていません。
<p>3.サービスマネジメントシステムの確立</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギー児には、大和市生活管理指導表による医師の指示をもとに栄養士が保護者と個別面談し、除去食を提供しています。 ・設置法人の「食物アレルギー食対応マニュアル」、厚生労働省策定の「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」で、アレルギー対応を学んでいます。

	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情対応マニュアルがあり、苦情を受けた場合には第三者委員を交えて対応する仕組みがあり、園単独で解決困難な事例はかながわ福祉サービス運営適正化委員会と連携して対応する体制を整えています。 ・設置法人作成の保育園業務マニュアルに「安全管理に関するマニュアル」および「事故防止対応マニュアル」があり、災害、緊急時対応(事故、けが、病気)、火災に対応できるようになっています。 ・園に小児用AEDを設置しており、職員は全員AEDの講習を受けています。また、赤十字幼児安全法支援員養成講座を受講し、救急救命資格を取得している職員が4名います。 ・警備会社と契約し、通報ベル、防犯カメラを設置しています。散歩時にも携帯電話と警備会社への緊急通報装置を携帯しています。毎月の避難訓練の他、不審者対応の訓練を行っています。
<p>4.地域との交流・連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域育児支援として、「ほかほか広場」や「わくわく広場」を計画し、実施しています。支援内容などについて、職員会議や昼礼で話し合っています。 ・「ほかほか広場」は年3回実施し、やまと公園でパネルシアターや絵本の読み聞かせ、シャボン玉遊びなどを行っています。「わくわく広場」は年4回、土曜日に申込制で地域の親子5組を園に招待し、段ボールカーで遊んだり、スキンシップ遊びをしています。 ・月曜から金曜日までの間、予約制で一時保育を実施し、毎日3名以内の受け入れを行っています。 ・第3木曜日を育児相談日としていますが、今年度、相談はありません。入園見学者からは離乳食に関する相談が寄せられ、移行期の食についてアドバイスをしています。 ・「やまと子育て応援フェスタ」では、他園と協力して、パネル展示で園紹介をしたり、エプロンシアター、手作りおもちゃを披露しています。 ・大和市立草柳保育園の園庭開放や人形劇の誘いを受け、参加しています。また、系列園のアスク大和南保育園の水遊びに参加したり、合同で散歩に出かけています。
<p>5.運営上の透明性の確保と継続性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は入社時研修や園長が実施する入職時のオリエンテーションで、理念と基本方針について説明を受けています。園長は、指導計画作成時や年3回の個人面談の際に、実際の保育の状況が理念・基本方針に沿ったものになっているか確認しています。 ・事業運営に係わる情報の集積・分析は設置法人で行い、園長会議を通して各園に伝達しています。 ・園では長期計画目標として「子どもが自ら生きる力を培う保育・親が子育て

	<p>の意欲を高めることにつながる保育・健全な子ども達を支える地域との連携」を掲げています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置法人のホームページ、園のパフレットで園の情報提供を行っています。ホームページに、設置法人の経営・運営状況を公開しています。 ・設置法人の就業規則で職員が守るべき倫理規律や服務規律を規定し、職員は入社時研修で理解しています。 ・設置法人の園長会や、大和市保育園園長会議で報告される他園の事象事例を職員会議で話し合い、自園に置き換えて対策を検討し、防止策を図っています。 ・主任の主業務として、職員のシフト勤務の作成、職員の業務分担、指導計画の点検・指導、当日のクラス配置などがあり、個々の職員の業務状況を把握しています。
<p>6.職員の資質向上の促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・設置法人の人材育成計画は「保育士人材育成ビジョン」に基づき、保育実践に必要な専門的知識・技術、組織としての社会性・協調性や指導力などを、階層別に策定しています。 ・職員は毎年、個人別年間研修計画を作成し、研修目標・テーマを決め、2月に園長が研修参加状況などの振り返り面談を行い、研修結果・達成度について、評価しています。職員は半期ごとに、研修参加状況、研修内容を振り返り、園長がアドバイスして、次期の研修計画に反映しています。 ・園の内部研修として「雨の日の合同保育の充実」や「環境設定」を取り上げるほか、衛生マニュアル・AED研修などを行っています。 ・職員は研修終了後レポートを提出して、昼礼で報告したり資料を回覧し、研修成果を職員間で共有しています。 ・職員は年2回、保育力、保護者対応などについて自己評価シートを使って査定を行ない、園長との面談を通し、具体的なサービス内容を振り返っています。 ・設置法人の園長会や大和市保育園園長会議での改善事例から得た他園の工夫点を持ち帰り、職員会議や昼礼で話し合い、保育サービスの向上につなげています。 ・年間指導計画（期ごと）、月間指導計画、週案、保育日誌に評価反省の記入欄があり、子どもの育ちや意欲、取り組み過程について、振り返りを行っています。 ・第三者評価の項目に沿って、各職員が自己評価し、その結果をもとにクラス会議で話し合い、園としての自己評価を取りまとめています。園としての自己評価の公表は、今後の課題としています。

事業所名:アスク大和保育園

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

評価機関による評価



3つ：高い水準にある、2つ：一定の水準にある、1つ：改善すべき点がある

評価領域 I 利用者本人（子ども本人）の尊重

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>I-1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</p> <p></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・設置法人の理念は「安全・安心を第一に」「お子様にとっていつまでも思い出に残る保育を」「利用者のニーズにあった保育サービスを提供」「職員が楽しく働けること」、基本方針は「子どもの自ら伸びようとする力、後伸びする力、五感を感じる保育の充実を目指す」で、それらは利用者の利益を尊重したものになっています。園目標として「すくすく元気にみんな仲良し」を掲げ、玄関に掲示しています。 ・職員は入社時研修や園長が実施する入職時のオリエンテーションで、理念と基本方針について説明を受けています。 ・サービスの実施内容については、理念に基づいて、利用者のニーズにそった保育を実践しています。 ・保育課程は、おおむね6か月未満からおおむね3歳までの子どもの発達過程に応じてねらいを定め、作成しています。 ・保育課程は基本目標、園目標を基に、家庭状況や保護者の就労状況、待機児童の多い地域の状況に応じた一時保育の実施、自然環境を考慮した散歩コース、延長保育などを考慮して作成しています。 ・保育課程は、非常勤職員の意見も参考に見直し、職員会議で検討し作成して、職員に配付するほか、玄関に掘り出しています。 ・保護者には、年初の懇談会で説明するほか、園だよりでも知らせています。

I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施



- ・入園前面談は、園長、主任、0歳児リーダーが子ども同伴で1家庭15～20分で行い、子どもの様子なども観察しています。面接時の情報は「入園前面談シート」に記録し、日々の保育に反映しています。食物アレルギー児については栄養士のブースで保護者と話し合っています。
- ・入園式に「入園時家庭調査票」「健康調査票」「入園前面談シート」で、家庭状況や生育歴などを把握しています。
- ・入園前面談で慣れ保育について説明し、保護者の就労状況にも配慮して、10日程度で終了しています。
- ・授乳時や離乳食を食べさせる時は出来るだけ特定の職員が対応し、信頼関係が築けるように配慮しています。
- ・子どもの心理的拠り所として、危険でないもの、不衛生でないものの持ち込みを可能としています。
- ・全園児、連絡ノートで、園と家庭での状況を確認し合っています。
- ・進級時には担任の一人が持ち上がるなどして、在園児の不安を少なくする配慮をし、ゴールデンウィークころまでは在園児と新入園児の2グループに分けて保育しています。
- ・保育課程をもとに、年間指導計画、月間指導計画、個別月間指導計画、週案、デイリープログラムを作成しています。
- ・指導計画の評価・見直しは、子どもの発達や状況をねらいに沿って振り返りを行い、職員会議で見直し、クラス担任が次期の計画を作成しています。
- ・子どものトイレトレーニングや箸への移行時期などについては、送迎時や個人面談で保護者の意向を確認し、指導計画に反映しています。

I-3 快適な施設環境の確保



- ・園内外の清掃は保育園衛生マニュアルに基づき毎日行い、清潔を保つようにしています。0歳児が使った玩具は毎日消毒しています。
- ・保育室にはエアコン、空気清浄器を設置しています。
- ・保育室の温・湿度は、温・湿度計や加湿器、24時間換気装置を使用して管理しています。
- ・各保育室の側面に窓を設置し、陽光を取り入れるよう配慮しています。
- ・音楽の音や職員の声が騒音にならないよう、お互いに注意しあったり、活動の状況を見て配慮し合っています。
- ・0歳児クラスは、寝ている子どもと歩ける子どもとで保育室を低い家具や棚で分け、カーペットやウレタンマットでコーナーを作っています。
- ・各クラス共に、低い棚で静と動の活動をする場所を区切っており、食べる、寝る空間を別にしてしています。
- ・各クラスに隣接して沐浴設備と温水シャワー設備があり、マニュアルに沿って清掃・管理し、清潔を保っています。

I-4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力



- ・全園児に、月間個別指導計画を作成しています。
- ・個別指導計画は、離乳食やトイレトレーニングの進捗状況などにより、保護者の意向を指導計画に反映し、作成しています。
- ・子どもや家庭の個別の状況や要望は、入園時家庭調査票、面談シート、個人面談時の面談記録票に記録しています。
- ・発達記録は、児童票として0、1歳児は毎月、2歳児は2か月ごとに記入し、事務室に施錠・保管しています。毎月の身長・体重測定、年2回の定期健康診断、年1回の歯科健診の診断結果を個人健康記録票に記録しています。
- ・進級時には、児童票を基に、年度末に新旧担任が申し送りを行っています。担任が異動した場合は、園長、主任が、4月に新担任に申し送りを行っています。

I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み



- ・アレルギー児や外国籍の子どもを受け入れています。
- ・職員会議でケース会議を行い、職員で子どもの状況を共有しています。
- ・大和市子ども部すくすく子育て課発達支援担当の巡回相談が年2回あり、助言を受け、昼礼で報告しています。
- ・障がいの特性を考慮した個別指導計画を立てることにしていますが、現在該当児はいません。
- ・設置法人の研修で障がい児について学び、昼礼や職員会議で話しあえる体制があります。
- ・虐待対応マニュアルがあり、毎年の児童虐待防止推進月間にはポスターを貼り、職員や家族に啓発しています。
- ・虐待が明らかになった場合や虐待が疑わしい場合は、園長から設置法人に報告し、大和市子ども部すくすく子育て課、神奈川県中央児童相談所に連絡し、連携して対応する体制があります。
- ・食物アレルギー児には、生活管理指導表、医師の指示をもとに栄養士が保護者と個別面談し、除去食を提供しています。
- ・設置法人の「食物アレルギー食対応マニュアル」、厚生労働省作成の「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」で、アレルギー対応を学んでいます。
- ・アレルギー疾患のある子どもの除去食は、職員が複数でチェックし、テーブルを他の子ども達と離し、職員が見守り、誤食防止に努めています。
- ・外国籍の保護者には、入園時面接で文化や生活習慣などについて意向を聞き、手紙や連絡ノートに振り仮名を振ったり、ひらがなを使うなどの対応をしています。

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>I - 6 苦情解決体制</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情受付窓口を園長・主任、苦情解決責任者を設置法人社長とし、設置法人本部及び第三者委員2名の連絡先とともに重要事項説明書に記載し、保護者会で説明しています。 ・玄関受付に第三者委員2名の氏名・連絡先を掲示し、玄関に意見箱を置き、保護者会（全体会）やクラス懇談会、行事後や給食試食会、年度末にアンケートを取り、保護者からの意見・要望や苦情を聞いています。 ・権利擁護機関として、かながわ福祉サービス運営適正化委員会のポスターを貼りだして職員や保護者に伝えていきます。 ・苦情対応マニュアルがあり、苦情を受けた場合には第三者委員を交えて対応する仕組みがあり、園単独で解決困難な事例はかながわ福祉サービス運営適正化委員会と連携して対応する体制を整えています。 ・苦情・要望は「クレーム受理票」に記録し（28年度1件）、昼礼、職員会議で話し合い、情報を共有しています。 ・保護者から日々寄せられる苦情要望についてのデータの蓄積はありません。 <p><コメント・提言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者から寄せられる苦情や要望については些細なことであっても記録をとり、データを蓄積・分析してその傾向を知り、解決に活かしていくことが望まれます。 ・外部の苦情解決窓口として、大和市こども部ほいく課など、保護者により身近である機関の紹介が望まれます。

評価領域Ⅱ サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>II - 1 保育内容[遊び]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが主体的に活動できるよう環境構成が行われています。2歳児クラスでは、おもちゃは子どもの目線に合わせた棚のボックスの中に入れ、子どもが自由に取り出して遊べるようになっています。ボックスには子どもが中身を見つけやすいように、おもちゃの写真を貼りつけています。0、1歳児については、年齢に合わせたおもちゃを子どもの興味と安全を考えて職員が提供しています。 ・室内を静かな遊びを行うスペース、動きのある遊びを行うスペースに分け、子どもが安全に、落ち着いて遊べるようにしています。 ・雨天時以外は毎日公園に出かけ、砂遊びをしたり、セミの抜け殻を集めたり、落葉で遊ぶなど、自然の中で遊んでいます。また、公園ではみんなで一緒に追いかっこなどのルールのある遊びを行っています。職員は、散歩中には交通ルールを守ることを年齢に応じて、「信号赤だから止まりま〜す」と言ったり自然な形で伝えていきます。 ・プランターなどを利用して小松菜や豆苗を育て、生育過程を見たり、収穫を楽しんでいます。 ・2歳児の子ども同士のけんかなどについては、職員は危険がないように注意深く見守ると同時に、言葉で上手く気持ちを伝えることができない子どものために「いやだっ、押さないで」などと代弁しています。0歳児、1歳児のけんかに対しては、傍らで見守りながら、手が出たり噛みつきの際は寸前で止めるようにしています。 ・近隣の公園の特徴を把握し、子どもの発達に応じて散歩コースを選び、徐々に運動能力(歩行距離)が延びるよう意識しています。1歳児、2歳児は週一回の体操教室、リトミック教室を通し、年齢に応じた運動能力を高めることができるようにしています。

II-1 保育内容[生活]



・献立は設置法人の栄養士が法人全体の献立を作成しています。月1回、行事に合わせて季節感のあるハロウィン、クリスマスなどの行事食を提供しています。子どもに食べやすいよう、野菜を小さく刻んで盛りつけたり、柔らかく煮たりしています。

・子どもが食べようとする意欲や行動を大切にしています。0歳児では、子ども自身にもスプーンを持たせ自由に食べさせ、少しでも口に入ると「上手にできたねえ。ママにお知らせしようか」などの声かけをしたり、手づかみで食べる子どもにも「おいしいのね」「食べられたねえ」など褒めるようにしています。

・食材はできるだけ国産の物を使用して、使う野菜の産地を掲示しています。食器は強化磁器製で、子どもの成長に合わせて、大きさの違うものを使用しています。

・栄養士は、担任から子どもの好き嫌いを聞いて、野菜の切り方を変えたり、小さく切ったり、ちぎったり、味を薄くしたり、調理方法を工夫しています。

・年に1度給食試食会を設けています。試食会では栄養士が、園が大切にしている食の安全や調味料を使わない味付け、切り方の説明をしています。

・午睡や休息については柔軟に対応しています。眠れない子ども、眠くない子どもに午睡を強要することはありません。眠れない子どもは、布団の位置を変えたり部屋の隅で本を読んだり、場合によっては事務室で抱っこしてもらっています。

・排泄については、0歳児は、生活の活動リズムでオムツを替え、1歳児・2歳児についても活動リズムでトイレに誘導したり、オムツを替えたりしています。子ども本人からの排泄の訴えがあった時には一緒にトイレに行ったりオムツを替えています。

<コメント・提言>

・高月齢になって一人飲みできる子どもであっても、子どもの目を見ながら授乳する事で得られる信頼関係、人間性を長くくむことなどを考え、授乳対応の見直しを検討されることが期待されます。

II-2 健康管理・衛生管理・安全管理[健康管理]



・保育園業務マニュアルに健康管理に関するマニュアルがあります。マニュアルに沿って、毎朝の子どもの様子を観察したり、保護者からの情報を伝達表に記載しています。昼礼で職員に子どもの健康状態、親の様子などを伝え、全職員で子どもの様子を共有しています。

・年2回の健康診断、頭囲、胸囲の測定、年1回歯科健診、毎月行う身体測定結果を、一人一人の定期健康記録票、および全員分を健康台帳に記録しています。健康診断の結果は「健康診断の結果」に記載し保護者に渡すとともに、口頭でも伝えていきます。

・「感染症、食中毒対応マニュアル」があり、入園時配布の「入園のご案内」の中に明記して、保護者に説明しています。

・感染症が園内で発症した時には、事務室前、保育室前に感染症名と人数を掲示して、保護者に情報提供をおこなっています。近隣の感染症情報についても事務室前に掲示しています。保健だよりは、感染症への予防法や手洗いの仕方などの情報を載せています。

II-2 健康管理・衛生管理・安全管理
[衛生管理]



・職員は入社時、衛生管理についての研修を受けています。毎年4月には保育園衛生マニュアルの読み合わせを行っています。マニュアル改定時には職員会議において説明しています。

・園内は清掃マニュアルに沿って清掃を行い清潔が保たれています。

II-2 健康管理・衛生管理・安全管理



・設置法人作成の保育園業務マニュアルに「安全管理に関するマニュアル」および「事故防止対応マニュアル」があります。マニュアルは災害、緊急時対応(事故、けが、病気)、火災に対応できるようになっています。年間避難訓練計画を作成し、毎月、地震、火事、不審者などを想定した避難訓練を行っています。

・保育中の子どものケガについては、軽傷であっても保護者に口頭で状況や対応を説明したり、連絡ノートに記入しています。医療機関を受診した場合は設置法人、大和市こども部ほいく課にアクシデントレポートを提出しています。また、保育日誌にも記録しています。

・園に小児用AEDを設置して、職員は全員AEDの講習を受けています。また、赤十字幼児安全法支援員養成講座を受講し救急救命資格を取得している職員が4名います。

・警備会社と契約し、通報ベル、防犯カメラが玄関、事務室前に設置されています。不審者侵入時の合言葉を決めると共に不審者対応の訓練を毎年11月に行っています。散歩時にも携帯電話と警備会社への緊急通報装置を携帯しています。

<コメント・提言>

・園内で日常発生するヒヤリハット情報は、昼礼時の口頭での発表だけでなく、ヒヤリハット記入票やノートに記録し、傾向を知り、未然に防ぐ対策を講じていくことが望まれます。

評価分類

評価の理由(コメント)

II-3 人権の尊重



・子どもの人権については設置法人で定めた保育園業務マニュアルがあり、職員は入社時に研修を受けています。疲れが見える職員のクラスには、園長、主任、フリーが入ったりし、疲れから子どもに対して威圧的な言葉遣いなどが行われないよう、職員間で配慮しています。

・運営法人が定めた個人情報管理規程があり、全職員(実習生を含む)が入社時やオリエンテーション時に、規程に基づいて個人情報の取り扱いや守秘義務について研修を受け、誓約書を提出しています。

・子どもや保護者に対して父親・母親の役割を固定的にとらえて話すことはありません。父の日、母の日に関しては一人親家庭に配慮し、園として取り上げない姿勢を持っています。保育中、性差による固定観念が感じられた時には職員同士で注意し合うことになっています。

<コメント・提言>

・オムツ替えの時にはパーテーションを利用したり、食後の脱衣は周りから見えない場所にするなど、人権に配慮した対応について検討することが望まれます。

II-4 保護者との交流・連携



- ・入園説明会、クラス懇談会で、理念、基本方針、保育内容・目的を分かりやすく説明しています。行事ごとにアンケートを取って集計した結果は玄関に掲示していますが、アンケートで保育方針が理解されたかまでは把握できていません。
- ・朝の登園時には保護者と会話をし、子どもの家庭での様子を聞いています。保護者からの話や保育中の気になる事柄は伝言表に書き込み、それを基にお迎え時に保護者と話をし、子どもの様子が確実に伝わるようにしています。事務室前にはその日の活動を記載したボードを掲示し、園内には日々の保育の様子を写真に撮り、掲示しています。
- ・年2回の個人面談週間を2週間設け、保護者が都合の良い日を選んで全員参加できるようにしています。保護者懇談会は多くの保護者が参加できるよう、年3回土曜日に行っています。
- ・相談内容を人に聞かれないで相談できるよう、事務室、一時保育室を相談室として利用しています。相談中には「面談中」の札をかけ、落ち着いて相談できるよう配慮しています。
- ・園だより、クラスだより、保健だより、きゅうしょくだよりを毎月発行し、園生活の情報を提供しています。
- ・保護者が自由に保育参観できる期間として、年に1度2週間の期間を設けています。スポーツフェスタやクリスマス会には保育参加を行っています。保護者からの希望があれば保育参観、保育参加にはいつでも応じています。

<コメント・提言>

- ・行事アンケートや別途「1年間の振り返りアンケート」を実施して、基本方針の理解を把握できる項目を追記したり、保護者会で確認するなどして、理念や基本方針についての理解度が把握できる方法を検討されることが期待されます。

評価領域Ⅲ 地域支援機能

III-1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供



- ・園が実施している地域の親子が参加できる催し「ぼかぼか広場」や「わくわく広場」の実施内容などについて、職員会議や昼礼で話し合っています。
- ・月曜から金曜日までの間、予約制で一時保育を実施し、毎日3名以内の受け入れを行っています。
- ・第3木曜日を育児相談日としていますが、今年度、相談はありません。入園見学者からは離乳食に関する相談が寄せられ、移行期の食についてアドバイスをしています。
- ・「やまと子育て応援フェスタ」では、他園と協力して、パネル展示で園紹介をしたり、エプロンシアター、手作りおもちゃを披露しています。

IV-1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ



- ・近隣の親子連れに対して、子育て支援を行っています。年3回やまと公園で「ぼかぼか広場」を開催し、パネルシアターや絵本の読み聞かせ、シャボン玉遊びなどを行っています。また年4回土曜日に申込制で地域の親子5組を園に招待し、「わくわく広場」を開催しています。「わくわく広場」では、段ボールカーで遊んだり、スキンシップ遊びをしたりしました。
- ・草柳保育園の園庭開放や人形劇の誘いを受け参加しています。系列園のアスク大和南保育園の水遊びに参加したり、共同で散歩に出かけたりしています。

<コメント・提言>

- ・園外で行われる園の催しやイベント開催時には、近隣商店にポスター掲示を依頼するなどして、園の行事を地域に発信していくことが望まれます。

<p>IV-2 サービス内容等に関する情報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・設置法人のホームページおよび園のパフレットで情報提供を行っています。また、大和市の子育て支援センター・大和市保健福祉センターに園のパフレットと子育て支援案内(わくわく広場など)を置き、情報提供に努めています。 ・利用希望者からの問い合わせには、園長、主任が、園のパフレットを基に園の基本方針や利用条件などを説明していません。問い合わせには、園長または主任が常時対応できるようになっています。 <p><コメント・提言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民や利用を希望する人に広く施設を理解してもらい、ニーズをとらえていくためにも、外部情報提供媒体を利用して園の情報を提供していくことが望まれます。
--	---

評価領域V 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>V-1 職員の人材育成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・園長は園運営に必要な人材や配置状況を把握し、設置法人本部に人材の補充を要請しています。 ・設置法人の人材育成計画は「保育士人材育成ビジョン」に基づき、保育実践に必要な専門的知識・技術、組織としての社会性・協調性や指導力などを階層別に策定しています。 ・職員は毎年、個人別年間研修計画を作成し、研修目標・テーマを決め、2月に園長が研修参加状況などの振り返り面談を行い、研修結果・達成度について、評価しています。 ・設置法人研修担当は年度末に職員から研修に関するアンケートを行い、職員ニーズや前年の研修テーマの反省をふまえ、研修計画を作成しています。 ・園内では、「雨の日の合同保育の充実」や「環境設定」について話し合うほか、衛生マニュアル研修を行っています。 ・職員は研修終了後レポートを提出し、昼礼での報告や資料の回覧で研修成果を共有しています。 ・職員は半期ごとに研修参加状況、研修内容を振り返り、園長がアドバイスして次期の研修計画に反映しています。 ・非常勤職員には、マニュアルが改定されたときは園長が、研修を行っています。

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>V-2 職員の技術の向上</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は年2回、保育力、保護者対応などについて自己評価シートを使って査定を行ない、園長との面談を通し、具体的なサービスの見直しを行っています。 ・設置法人の園長会や大和市保育園園長会議での改善事例から得た他園の工夫点を持ち帰り、職員会議や昼礼で話し合い、保育サービスの向上につなげています。大和市子育てフェスタで他園の手作りおもちゃの情報を得て、園で共有し保育に活かしています。 ・年間指導計画（期ごと）、月間指導計画、週案、保育日誌に評価反省の記入欄があり、各期間終了時に保育実践の振り返りをする書式となっています。 ・指導計画の評価反省は、子どもの育ちや意欲、取り組み過程について詳しく観察のうえ、記録しています。 ・第三者評価の項目にそって各職員が自己評価した結果をもとにクラス会議で話し合い、園としての自己評価を取りまとめています。 ・基本方針、園目標、保育課程を基に、第三者評価の各評価項目について園としての自己評価を行っていますが、園としての自己評価の公表は行っていません。 <p><コメント・提言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・園としての自己評価結果と改善課題について、園だよりなどで保護者に分かりやすく公表することが望まれます。
<p>V-3 職員のモチベーションの維持</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・設置法人の「保育所人材育成ビジョン」には、経験・能力レベル別の保育実践に必要な専門的知識・技術、組織としての社会性・協調性や指導力などを期待水準として明確にしています。 ・職員の職務分担は保育園業務マニュアルで明確化しており、園長不在時は主任が代行し、可能な限り現場職員に権限を委譲し、緊急時には担当職員の判断に任せ、事後に園長・主任に報告・連絡・相談することを徹底しています。 ・園長は、年3回個別面談を行い、職員の意見・要望・満足度を確認しています。

評価領域VI 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>VI-1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・設置法人の就業規則で職員が守るべき倫理規律や服務規律を規定し、保育園業務マニュアルで社会人としての基本、勤務心得などを明文化しており、職員は入社時研修で理解しています。また、設置法人にコンプライアンス委員会を設置し、職員の不正などを直接通報できる内部通報制度があり、連絡先を職員更衣室に掲示しています。 ・設置法人のホームページに経営・運営状況を公開しています。 ・設置法人の園長会や、大和市保育園園長会議で報告される他園の事故事例を職員会議で話し合い、自園に置き換えて対策を検討し、防止を図っています。 ・民間ゴミ回収業者と契約し、リサイクル用分別袋を使用して分別を行い、回収してもらっています。遊びに使う新聞紙の提供を保護者に呼びかけ、牛乳パックを利用しておもちゃを作っています。 ・待機電力節減のため、未使用時はコンセントを抜いています。 ・環境への考え方、取り組みについては設置法人のホームページの環境活動に明文化しています。 <p><コメント・提言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・園としての環境への考え方や取り組みを明文化して運営に活かすとともに、保護者への啓発が期待されます。
<p>VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・理念・基本方針、園目標を玄関に掲示し、職員に周知しています。職員会議や昼礼、期末に指導計画を立てる際に理念に立ち返ることなど、機会あるごとに園長・主任から説明しています。 ・園長は指導計画作成時や年3回の個人面談の際に実際の保育の状況が理念・基本方針に沿ったものになっているか確認しています。 ・保護者に伝える変更があった場合は、1、2歳児クラスから各2名選出される評議員や保護者の意見を聞いたり、職員に対しても変更理由、実施時期などを十分に説明して実施することにしていきます。 ・夏祭りなどの大きな行事の際には、園全体で組織をあげて取り組んでいます。設置法人のマネージャーや管理課などを交えて問題解決にあたる体制があります。 ・主任の主業務として、職員のシフト勤務の作成、職員の業務分担、指導計画の点検・指導、当日のクラス配置などがあり、個々の職員の業務状況を把握しています。 ・主任は、各クラスの保育現場や昼礼、職員会議を通して、個々の職員の能力・経験に合わせ、適切な助言や指導を行っています。 ・主任は個々の職員の体調を考慮し自ら保育に入ったり、職員から直接相談を受けるなどして、園長と職員との調整役として、職員とのコミュニケーションを図っています。

VI-3 効率的な運営



- ・事業運営に係わる情報の集積・分析は設置法人で行い、園長会議を通して各園に伝達しています。園では長期計画目標として「子どもが自ら生きる力を培う保育・親が子育ての意欲を高めることにつながる保育・健全な子ども達を支える地域との連携」を掲げています。
- ・保育士の待遇改善や保育施設の開設などの事業運営上の重要事項については、設置法人が決定しています。
- ・各園の安全に関する重要事項については園長会議で園長に伝達したり、マネージャーが担当園を訪問して園長などの園幹部職員に説明し、意見交換しています。
- ・運営に関し、設置法人が、外部の機関や弁護士などの専門家などの意見を取り入れています。

利用者家族アンケート

事業所名:アスク大和保育園

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

結果の特徴

◇ 調査対象

調査時点での在園児数 60名、全保護者 59家族を対象とし、回答は 30家族からあり、回収率は 51%でした。

◇ 調査方法

評価機関で準備した「家族アンケート用紙」と返信用封筒を、保育園から保護者に直接渡し、約2週間後までに密封して匿名で 保育園で用意した回収箱に入れてもらい、密封のままの状態 で評価機関が回収しました。

◇ 総合満足度

肯定的な回答は 97%(満足 73%、どちらかといえば満足 24%)と高い評価を得ており、回答なしが 3%でした。

◇ 比較的満足度の高い項目

以下の項目は「満足」と「どちらかといえば満足」の合計が100%となっています。

- 1)入園するときの状況の設問で、「子どもの様子や生育歴を聞く対応」
- 2)「遊び」の設問で、「戸外遊びを十分している」「自然に触れたり、地域に関わる園外活動」、「健康づくりへの取り組み」
- 3) 保育園の快適さや安全対策などの設問で、「外部からの不審者侵入を防ぐ対策」
- 4) 職員の対応の設問で、「お子さんは保育園生活を楽しんでいる」

「生活」の設問で「給食の献立内容」については、「満足」の回答が97%となっています。

◇ 比較的満足度の低い項目(どちらかといえば不満、不満の合計)

- 1) 「保育目標・方針を知っているか」の設問は、「あまり知らない」が17%となっています。
- 2) 入園するときの状況の設問で、「費用や決まりに関する説明」に13%の方が「どちらかといえば不満」と答えています。
- 3) 「生活」の項目で、「保育中にあったケガに関する保護者への説明・対応」で13%の方が否定的回答(どちらかといえば不満と不満の合計)を寄せています。
- 4) 「保育園の快適さや安全対策」の設問で、「施設設備」について13%の方が否定的回答となっています。

調査結果

■園の基本理念や基本方針について

施設の基本理念や基本方針の認知	よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答
	10%	60%	10%	17%	0%	3%

↓ 問1で「よく知っている」、「まあ知っている」と回答した方のうち

付問1

理念や方針への賛同	賛同できる	まあ賛同できる	どちらともいえない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答
	86%	14%	0%	0%	0%	0%

■施設のサービス内容について

問2 入園した時の状況

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
見学の受け入れについては	77%	17%	0%	0%	6%	0%
その他:						
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	73%	24%	3%	0%	0%	0%
その他:						
園の目標や方針についての説明には	60%	37%	3%	0%	0%	0%
その他:						
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については	80%	20%	0%	0%	0%	0%
その他:						
保育園での1日の過ごし方についての説明には	67%	23%	10%	0%	0%	0%
その他:						
費用やきまりに関する説明については (入園後に食い違いがなかったかを含めて)	77%	10%	13%	0%	0%	0%
その他:						

問3 保育園に関する年間の計画について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
年間の保育や行事についての説明には	57%	40%	3%	0%	0%	0%
その他:						
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	53%	40%	7%	0%	0%	0%
その他:						

問4 日常の保育内容について

遊びについて

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	77%	20%	0%	0%	3%	0%
その他:						
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	87%	13%	0%	0%	0%	0%
その他:						
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	73%	24%	0%	0%	3%	0%
その他:						
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	80%	20%	0%	0%	0%	0%
その他:						
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているかについては	77%	20%	3%	0%	0%	0%
その他:						
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	70%	30%	0%	0%	0%	0%
その他:						

生活について

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
給食の献立内容については	97%	0%	0%	0%	3%	0%
その他:						
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	80%	17%	0%	0%	3%	0%
その他:						
基本的な生活習慣(衣服の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては	77%	20%	0%	0%	3%	0%
その他:						
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	73%	20%	7%	0%	0%	0%
その他:						
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	60%	24%	0%	0%	13%	3%
その他:まだ、始めていない。おむつが外れてから入園した。						
お子さんの体調への気配りについては	60%	37%	3%	0%	0%	0%
その他:						
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	60%	24%	10%	3%	3%	0%
その他:						

問5 保育園の快適さや安全対策について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
施設設備については	54%	30%	10%	3%	0%	3%
	その他:					
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気については	54%	43%	3%	0%	0%	0%
	その他:					
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	63%	37%	0%	0%	0%	0%
	その他:					
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	57%	33%	7%	3%	0%	0%
	その他:					

問6 園と保護者との連携・交流について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	73%	20%	7%	0%	0%	0%
	その他:					
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	87%	10%	3%	0%	0%	0%
	その他:					
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	60%	34%	3%	3%	0%	0%
	その他:					
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	64%	30%	3%	3%	0%	0%
	その他:					
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	67%	27%	3%	0%	3%	0%
	その他:					
保護者からの相談事への対応には	64%	30%	3%	0%	0%	3%
	その他:					
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	67%	30%	0%	0%	3%	0%
	その他:					

問7 職員の対応について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
あなたのお子さんが大切にされているかについては	70%	20%	7%	0%	3%	0%
	その他:					
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	77%	23%	0%	0%	0%	0%
	その他:					
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	60%	20%	0%	0%	13%	7%
	その他:					
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	70%	27%	3%	0%	0%	0%
	その他:					
意見や要望への対応については	67%	30%	3%	0%	0%	0%
	その他:					

問8 保育園の総合的評価

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答
総合満足度は	73%	24%	0%	0%	3%

観察方式による利用者本人調査

平成 28 年 11 月 4 日

事業所名：アスク大和保育園

【0 歳児】

<散歩>

朝、9時半を過ぎると散歩の準備が始まります。子どもたちは玄関でワイワイガヤガヤ、靴下や靴を自分で履こうとしたり、保育士に任せています。子どもの気分に合わせて、保育士は「ギュッギュ、してね」などの声かけをしたり、手を添えたりして、準備が整います。名前を呼んで人数確認をしたら出発です。エレベーターを降りた途端、買い物に來ている近所の方々と鉢合わせをします。保育士は口々に「おはようございます」と言葉で伝え、子どもたちは手を振って挨拶です。「おはよう、かわいいねえ、気を付けて行ってらっしゃい」の言葉をかけてもらい、子どもたちは嬉しそうにしています。これから深見台1号公園まで行きます。子どもたちは乳母車に乗って、信号、車、自転車などに注意し、交通ルールを覚えながら交通量の多い地域を移動します。保育士は、「赤だから止まりま〜す」、「大きいトラックだねえ」、「〇〇ちゃんの好きな△△がいたね」「飛行機が飛んでるよ」「ハロウィンがクリスマスに変わったねえ」などと絶えず穏やかに子どもたちに話しかけています。保育士はそれぞれの子どもの興味の対象を覚えて声をかけているようです。「あっパトカーだ」という保育士の言葉で子どもたちは一斉にパトカーに向かって手を振り、パトカーのお巡りさんから手を振ってもらう場面もありました。

<公園での遊び>

公園に到着後は、園内の安全点検、再度の人数確認を行い、遊びが始まります。砂場で遊ぶ子どもや近くにある土管でイナイイナイバーをして遊ぶ子どもに、保育士が声かけをして数人ずつに分けようとしています。子どもたちは自分のやりたい事を見つけてそちらに行っています。近隣の親子連れに、保育士は「お友だちが来たよ」「どうぞ」などと子どもたちに話しかけ、親子が園の子どもたちと一緒に遊びやすいようにしています。保育士は「これ何?」「おいしそうなのできたね」などと子どもたちを褒めています。

しばらく遊んでから、「お片付けしま〜す、ないないできるかなあ〜」「〇〇ちゃん、ないないして帰るよ〜」のかけ声で、帰る準備が始まります。保育士は子どもたちが少しでも自分で片付けることができるように、片付け用の袋を子どもの側に持って行っています。

帰り道では「ここは先生が持つところですからね」と、バギーのバーを持つ

と頑張る子どもに説明しています。保育士は他の子どもを押している子どもに対して「いやだって、押さないで」と押されている子どもの気持ちを代弁したり、そばを走るトラックや特殊車両を見つけて子どもに教えたりと、遊び疲れてやや不機嫌になってきた子どもたちの気をひいています。

<オムツ替え>

散歩から帰ってくると、手洗い、オムツ替えです。「おもちゃのチャチャチャ、そうだったらいいのにな」などの曲が流されています。「おしり替えようね」と言いながら、中央の部屋(棚で仕切られた)で3人の保育士が順に替えています。

食後のオムツ替えでは、子どもたちは、保育士に手伝ってもらい、食事を済ませた席で、これまで着ていた服を脱ぎ、オムツだけの姿になります。中央の部屋に保育士と共に移動し、オムツが汚れている子どもはオムツ替えをし、そうでない子どもはパジャマに着替えます。

<食事>

全員揃って「きゅうしょく、きゅうしょく、みんな一緒にご挨拶」を歌った後、食事が始まります。保育士は「おいしいねえ〜」「上手」「お野菜食べてえらいね」「カボチャ好き?」「お肉にする?」「お茶飲んでる、かっこいい、ママに教えてあげようね」などと様々な声かけを行い、子どもの食べるペースに合わせて、食事を進めています。子どもたちは自分でスプーンを使って食べたり、大きな口を開けて保育士に入れてもらったりし、楽しそうに食べています。手づかみ食で食べ物を口に運んでいる子どももいます。

<自由遊び>

室内では保育士が用意したおもちゃの電話や、大きめのブロックなどを使って保育士にくっついたり、子ども同士でくっついたり、一人で楽しんだりしながら、それぞれが遊んでいます。保育士はケガが無いよう見守りながら、おもちゃの取りっこが起きたときにはそれぞれの気持ちを代弁したり、遊んでいる子どものごっこ遊びを支援するような言葉かけを行っています。

<午睡>

午睡の場所には、子どもたちが散歩から帰る前に布団が敷かれています。

食事が終わった子どもは、順次、真ん中の部屋に行きパジャマに着替えさせてもらっています。多くの子どもたちがパジャマに着替えた頃、カーテンは閉じられ、薄暗い部屋になります。子どもたちはそれぞれの布団の上に横になります。保育士は、子どもに話しかけながら背中をトントンしたり、お腹をさすったりしています。込み合っている空間にいることが苦手な子どもは、皆とは少し離れた位置に布団を敷いてもらっています。子どもたちは徐々に深い眠りについていきます。うつ伏せになって眠っている子どもは、保育士が子どもを起こさないように注意しながら仰向けにしています。

【1歳児】

<散歩の帰り道>

子どもたちは、泉の森（公園）から10名が2人ずつ手をつないで帰ってきました。保育士3名は、2グループの子どもと1グループの子どもに分かれて手をつないでいます。往復の道は大和駅から歩行者が安心して往来できるグリーンプロムナードになっていて、両側には水が流れています。ご機嫌がよくないのか、ずっと泣きながら歩いている子どもに、保育士が、「(チャイムのなる音を聞いて) キンコンカン鳴ってるよ、水が流れているね」などと声をかけると、いつの間にか泣き止んでいました。手を放した子どもに「〇〇ちゃんもお手手つないでね」と話すと、恥ずかしそうに手をつなぎ、お友達とおしゃべりしながら歩いていきました。

途中、ごみ収集車や救急車に出会ったり、交差点で止まっているパトカーに手を振ると警察官がにこにこ笑いながら手を振り返してくれ、ほかの子どもたちも保育士もうれしそうでした。

周りに注意しながら商店街を歩いて、園につきました。点呼してからみんなで階段を昇ります。手すりにつかまって一人で昇る子ども、保育士に手をつないでもらって一段一段慎重に上る子どもなど様々です。「みんなよく頑張ったね」と保育士が声をかけています。

<散歩から帰って着替え、排泄から食事>

玄関に入って靴を脱ぎ、数人ずつ順番に保育室に入り、トイレに行きます。まだ全員紙パンツですが、便器に座っている子どももいます。自分でパンツとズボンをはきますが、保育士になかなかズボンが上がりず、少し手伝ってもらっている子どももいます。排泄が終わると一人ずつ手洗い場に向かい、手洗いとうがいをします。5人の保育士が連携しながらスムーズに支援ができるように動いています。昼食のために席に着くと、保育士が一人一人に絵本を渡し、子どもたちは静かに本を見ています。全員の排泄が終わったところで保育士の伴奏に合わせて、歌を歌い始めます。1曲終わると「今度は何にしようかな」と子どもたちに問いかけ、「どんぐりコロコロ」のリクエストに応じてみんなで歌い始めました。

配膳が終わり、子どもたちは「いただきます」をして食べ始めました。食物アレルギーの子ども3名の横に保育士が一人ついていきます。提供する際は、手順に沿って保育士同士献立を読み上げ、間違いのないように気を配っています。子どもたちは自分でスプーンを持って上手に食べたり、保育士に介助してもらっています。食べないでいる子どもには、保育士が替わって、「△ちゃんおいしいって言うてるよ、食べてみる？」と声をかけると子どもは気分が変わったのか、「うん」と頷いて食べ始めました。

<午睡前の読み聞かせ>

食事が終わると午睡に入る前に本コーナーから本を持ってきて、自分で本を見ていましたが、保育士が絵本を読み始めようとする子どもたちが保育士の周りに集まってきました。すでに眠くなって布団で寝ている子どもが1名いました。

【2歳児】

<食事>

ほぼ完食した子どもに保育士がお替りを配っています。楽しそうにおしゃべりしながらフォークを使って上手に食べていました。「カボチャおいしいね」「ぴかぴかでしょ」と調査員にお皿を見せてくれました。他のテーブルでは保育士に介助してもらったりして、ほぼ全員が完食していたようでした。

食べ終わると自分で口を拭いて、仕上げに保育士にも拭いてもらっていました。手を拭いている子どもに、「今日は卵だったので、かゆくなっちゃうお友達がいるので、よく拭いてね」と促していました。

<散歩>

子どもたちは、園庭がないこともあり、天気が許せば毎日散歩に出かけており、今日も20分以上離れた深見台1号公園までに散歩に出かけます。鼻が出ている子どもに気づいた保育士はそっと拭いてあげています。途中、信号のあるなしに関わらず横断歩道をわたるときは、「シマシマ道路だから手をあげて渡ろうね」と声かけしています。子どもたちは、手をあげて渡り、「上手だね」と保育士に褒められてうれしそうです。「セミの抜け殻あるかな？もうないんじゃないの？どんぐりあるかもしれないよ、きれいな葉っぱあるかな？」と、子どもたちと保育士の会話も弾んでいます。他園の子どもたちと出くわしました。保育士同士で、どこの公園行くのか情報交換しています。行き先が違うことがわかり、別れ道に来ると、バイバイと手を振っています。

<公園での遊び>

公園につくと点呼してから、みんなで「よーいドン」と走り始めます。走り出した子どもたちは、てんでにやりたいことを見つけて散っていきます。一人走らない子どもには保育士が誘っています。遊具で遊ぶ子ども、「バッタいるかな」と草むらをのぞく子ども、走り回っている子どもなど様々です。ジャングルジムでお店屋さんごっこが始まりました。「何にしますか？なに売ってますか？パンです、アイスです。葉っぱのお金です」とそれぞれに買い手や売り手になって遊んでいます。

<排泄>

子どもたちは、トイレに行きたい時に保育士に声をかけるほか、食事などの

活動の変わり目には保育士が子どもたちに声をかけ、子どもたちは数人ずつ保育室を出て、廊下の端にあるトイレに向かいます。扉のあるトイレとないトイレが用意されており、子どもたちは自分で使いやすい方を選んでいきます。

平成 28 年度 第三者評価 事業者コメント

アスク大和保育園

【受審の動機】

アスク大和保育園は、開園 6 年目を迎えました。公正で信頼のある第三者機関により、専門的かつ客観的な視点で評価していただくことで、日頃の保育を振り返り、運営方針や利用者の求める保育サービスが提供できているかを見直す絶好の機会であると考え、昨年度に引き続き今年度も受審させていただきました。

開園初年度より、同じ評価機関に評価を依頼し一貫した調査を受けることで比較がしやすく、運営方針等も十分にご理解いただいた上で調査を実施していただけると感じています。同時に、職員にとっても自己・自園の保育を見直し、日々の運営に反映させる絶好の機会と考えております。

また、評価結果を公開することにより、地域に開かれた保育園として信頼を得ると共に、保護者皆様の保育園を選択する判断材料のひとつとして活用されることを望んでおります。

【受審した結果】

職員の受け入れ体制や保育の姿勢に対して感謝の言葉を多くいただきましたことは、非常に有り難く、園で勤務する職員の今後の励みとなりました。

当園は商業施設の 2F にあるため、園庭がないという環境的制限がある中での保育を行っております。保護者の方にはご理解をいただき、その上で園としてできる限り天気の良い日は散歩に出るなどの代替の対応をとっております。しかし「施設整備」に関してはアンケート結果にて課題がありましたので、施設整備についてはより一層配慮を行い、より良い保育の提供に努めます。

また来年度の課題として、「保護者との連携・交流」に注力をしていきたいと考えております。当園では保護者様の負担にならないように、保護者会というものは発足せず、運営委員会という場で園が主体となって情報共有・交換の場を設けておりますが、限られた機会が保護者によってより良い場になるように見直しをし、またその他の機会や方法での情報伝達が十分になるように都度見直しを行っていきます。

最後に今回の受審にあたって、ご利用者調査にご協力いただいた在園児の保護者の皆様、ご尽力頂いた評価機関の皆様に心より感謝申し上げます。

